つなセン NEW」 No.28 2023 www.tsuna-cen.com

活動履歴と今後の予定

登米文化財町家利活用現地調査

7/21 錦町住宅1号棟 行政協議支援

7/28 あすと長町第三みのり会相談対応

8/1 ソトコト取材対応

8/8 錦町住宅1号棟発起人会

8/24 令和5年度第2回理事会

8/28 北浜住宅役員会

8/29 錦町住宅1号棟発起人会

9/11-12

「公営住宅の地域資源を活かした新たな地域運営」

研究会@神戸

9/16 錦町住宅1号棟発起人会

Wi-Fi サロン 2ヶ所で開催中!

<つながリッキー@あすと第二>

開催日:毎週金曜13:30~15:00

※12/30, 1/6は年末年始のためお休みです。 場所:あすと長町第二市営住宅集会所(太白区長町6-5-13) 参加費:大人100円、高校生以下無料

主催:就労移行支援Rickyクルーズ、つなセン協力:あすと第二市営住宅住民の会

<田子西スマホ講座>

開催日時:毎月第二土曜13:30~15:00 場所:田子西住宅集会所(宮城野区田子西1-11)

主催:田子西町内会 協力:つなセン、東北学院大学災害ボランティアステーション、 東北大学課外・ボランティア活動支援センター

お気軽に ご参加 ください。

会員数 正会員 賛助会員 f facebook いいね!数

2023年9月1日 現在(前号比

入会のご案内/寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ 伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や 寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控 除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 https://tsunacen.thebase.in/



継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。

- ・正 会 員:年間6,000円・総会議決権あり
- ・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

- <口座名義>特定非営利活動法人つながりデザインセンター
- ●郵便振替:02230-8-121908
- ●郵便振込:ゆうちょ銀行 二二九支店 (ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま。

般社団法人入居サポートセンター・みやぎ SD不動産 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねいと」

株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 社会福祉法人ライフの学校 スタジオまめちょうだい 仙台白百合女子大学 佐々木研究室

仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室

長崎大学 安武研究室 宮城厚生協会長町病院 有限会社栗駒建業

役員名簿

代 表:薄田榮一 副代表:新井信幸

理事:松原久

事:マリェリザベス

事:松村 翔子

監事:金沢和樹 監事:佐々木 裕子

編集後記

ます。〈新井〉

関東大震災から100年が経ちました。子供の頃、震 災当時、東京にいた祖父母から幾度となく被害と恐 怖の大きさを聞かされていました。加えて、戦災の話 も聞かされていたので、子供心にいい時代になった なと感慨にふけったことを覚えています。そんな平 和が続くには何が必要なのか、自分なりの答え絞り 出しつつ、息子や若い世代にどう伝え継ぐか、この歳 になってその責任感が少しずつ芽生え始めてきてい

認定NPO法人 つながりデザインセンター

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080 - 3205 - 5177MAIL asuto@tsuna-cen.com WEB www.tsuna-cen.com



つなセン TSUNAGARI Design Center

MEMI



つなセン活動の効果検証へ~通常総会+会員交流イベントの開催~ 錦町住宅で住宅会の設立を検討開始

登米町家の利活用計画コーディネート

【団体紹介】一般社団法人かかしの一本足かえるのあぐら

www.tsuna-cen.com

活動報告

Main Topic

通常総会 会員 交流

睴

筷

0

度)が6月11日、つなセン事務所とオン ラインにて開催されました。

総会では昨年度の事業と決算の報 告に続いて、今年度の事業計画と予算 が報告され、それぞれ満場一致で承認 されました。また、田澤紘子氏(東北芸 術工科大学)の理事就任も承認されま

今年度の事業計画については、復興 から日常のフェイズに移行し、災害公営 住宅での孤立を防ぐコミュニティと居場 所づくりにおいては、助成金での財源



確保が難しくなるなか、中期計画とし て、これまでの活動の効果検証に注力 し、情報発信も積極的に展開していく方 針が示されました。これに関連し、「公営 つなセンの第7回通常総会(2023年 住宅の地域資源を活かした新たな地域 運営」をテーマとした科学研究費(研究 代表者:新井信幸・東北工業大学/つ なセン副代表)の研究活動との連携に ついて説明がありました。同研究には 研究協力者として、つなセン理事の宮 本愛氏と松原久氏も携わり、今年9月に は阪神淡路大震災に伴って建設された 災害公営住宅の自治運営や集会所利 用の状況等について把握するための神 戸視察が計画されています。

> 一方、災害公営住宅等での支援活 動、シェアハウス運営、その他、空き家 活用のコーディネート等の実践面につ いては、収支のバランスを踏まえながら 続けていくことが示されました。



▲総会プレゼン資料その1(令和4年度つながリッ キーの報告)

インクルーシブな遊び場に関する調査研究

- 錦織真也氏(東北工大・准教授)、平井百香氏(東北大・助手)との学術論
- へスプラッキー 「配慮の必要な子どもとその親の外出に関する意識からみるインクルーシブな遊びの場に向けた課題」 (日本都市計画学会審査付:審査中)



▲総会プレゼン資料その2(インクルーシブな遊び

地域と若い世代の関わり についての情報交換

この日は総会に引き続き、会員交流イベントとして、『「つながり のデザイン | みんなでトーク~次世代が地域に関わるきっかけと は~』と称したトークイベントが開催され、つなセン理事の松村翔 子氏(仙台市市民活動サポートセンター副センター長)のテーマ 解説に続いて、参加者から各自の取り組みや関わりのある地域 自治の状況などについての報告があり、意見交換も活発に行わ れました。

そこでは地域自治を担う町内会、自治会の高齢化が顕著であ るとともに、若者の関わりが希薄であるといった実態が示されま した。その上で、大学生ボランティアがお祭りや敬老会を支援して いる事例や、NPOがコーディネートしながら高齢者と若者が手紙 のやり取りを行っている事例等の紹介がありました。

また、あすと長町第二市営住宅では、大学生数名によるドール写 真撮影会での集会所利用があったり、外部に開いた集会所運営に よって、若い世代との接点が生まれつつある様子が窺えました。

つなセンでは、若い世代の地域への関わりをテーマに、今後も 意見交換や情報共有の場を設けていきたいと思っています。

科研費:公営住宅の地域資源を活かした新たな地域運営 つなセン 2023年度~2025年度·基盤C360万円

《研究概要》地域自治の役割を、主に共用部の管理を担うスリムな体制とした上で、 公営住宅内外の交流を通してサロンやサークル活動を活性化させる仕組みを「新たな 地域運営」と呼び、それにより持続可能な地域コミュニティが形成されるとともに、 孤立しにくい環境が生み出されていくものと推考している。以上を客観的なエビデン スから検証し、理論構築の深化を試みる。

〈主なスケジュール客〉

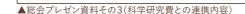
2023年度 4/17: キックオフMTG (オンライン) : 各自研究・活動紹介など 夏:神戸公営フィールドワーク+研究会、春:仙台公営フィールドワーク+研究会 2024年度 夏:東松島・石巻フィールドワーク、春:東京公営フィールドワーク+研究会 2025年度 オンライン研究会 等

〈研究組織〉

研究代表者:新井信幸 東北工業大学建築学部建築学科教授

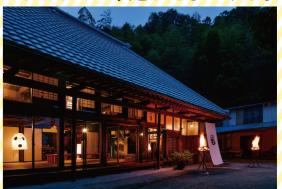
研究分担者:田中正人 追手門学院大学地域創造学部地域創造学科教授 野崎瑞樹 東北文化学園大学医療福祉学部教授 川村岳人 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科准教授

研究協力者: 宮本 愛 認定NPO法人つながりデザインセンター事務局長 松原 久 東北大学高度教養教育・学生支援機構助教



団体紹介 No.28

一般社団法人 かかしの一本足かえるのあぐら



「かかしの一本足かえるのあぐら」は、古き良き日本の 里山風景を守り、地域に人を呼び込むことで地域活性化 を目指す団体です。現在は、宮城県柴田郡柴田町で築 170年の古民家を改修し、古民家宿・シェアスペース・飲 食店などを運営しています。つなセンが空き家活用コー ディネーターとしてお手伝いしている、宮城県登米市の町 家活用の取り組みにもご協力いただいています。

柴田町の古民家「柚子のあぜ道雨乞のかえる」は、丸 ごと一棟貸しの古民家宿で、周りには竹林や沢など、誰も が懐かしさを感じる日本の原風景が広がっています。家族 や友人とゆったり楽しめる空間で、コロナ禍でも宿泊者 数を伸ばす人気の宿です。最近では、古民家宿の合間の 数日間だけ、完全予約制で古民家ラーメンを営業するな ど、ユニークな試みも続けています。残暑の疲れを里山の ゆったりとした時間で癒してみるのはいかがでしょうか。

〈柚子のあぜ道 雨乞のかえるホームページ〉 http://www.vuzunoazemichi.ip/ 〈かかしの一本足かえるのあぐらFacebook〉 https://www.facebook.com/profile.php?id=100068976477094



錦町住宅で住宅会の設立を検討開始

塩竈市営錦町住宅は、3棟40戸の住宅です。震災後、市内で最も 早くに完成し優先入居が始まったため、離島を除く市内の災害公営 住宅の中では最も高齢化率が高いところでもあります。ここでは、早 い段階から地元の町内会に編入することが決まり、棟内の集会所も 地元町内会により運営がされることになりました。そのため、団地住



民だけの組織がなく、共益費は、 各棟の代表者が集金し取りまと める形で管理がされてきました。 ·かし、共益費から物品を購入 般の電気代高騰に伴い共益費 の増額を検討したくても、話し合

いや意思決定をする場がないな ことから、入居から9年目となる今 年、住宅会の設立について検討を 始めることとなりました。

つなセンでは、住民による発起。 会からの要請に基づき、みやぎ連

携復興センターの派遣を受けて本年6月より支援を開始しました。こ れまでの他地区での住宅会設立の蓄積を生かし、また新たな課題等 も踏まえて、本住宅にとってより良い形を模索しながら、住民の皆さん と話し合いを進めていきます。



昨秋から宮城県登米市にある築134年の町家(有形文化財・ 現菅勘資料館)の新たな利活用のための計画コーディネート事 業を進めています。現在は宿泊施設として利活用できるよう家主

さん、事業候補者さんとともに計画を練っているところで、「ちょっ とリッチな大人宿」をテーマに、町家の風情を活かしつつ、浴室や



ダイニングキッチンなどを新し くつくり変えるリノベーション提 案等を新井研(東北工大)の学

地域コミュニティ概念図

登米町家の利活用計画コーディネート

同町家の周辺はかつて県庁 斤在地(水沢県)として賑わっ

た明治時代の登米(とよま)の街 で、同町家のご一族も廻船問屋 として栄華を極めたそうです。

